

《大会トロフィーについて》

自転車のギアを模した太陽のデザインが特徴的な「ツール・ド・九州」の大会トロフィーである。

トロフィーは株式会社九州電化がプロデュース。有限会社井上デザインの鍛金職人である井上雅晴さんが彫金、太陽の中心となる鏡部分の制作は株式会社九鏡が担った。ベルサイユ宮殿の「鏡の間」にも使われているフランスの老舗メーカー「サンゴバン社」の製品を加工して使用されている。



《寄贈企業について》

- 株式会社九州電化（福岡市東区社領3丁目4番8号）
 金属へのめっき加工をはじめとした表面処理加工事業者。
 自動車部品のほか、国プロジェクト（液化水素運搬船の開発）に参画するなど幅広い分野で活躍。豪華客船や豪華列車への内外装品も数多く受注しており、代表的なものは、ななつ星 in 九州」や「或る列車」等の内外装品など。

 - ・令和5年秋の褒章 黄綬褒章受章
 - ・福岡県航空機産業研究会（FAIN） 副会長
 - ・第8回日本ものづくり大賞 九州経済産業局長賞受賞

- 有限会社井上デザイン（福岡県久留米市太郎原1545-1）
 デザインから製作・施行まで行う総合サインメーカー。
 会長である井上雅晴さん（70）は、1970年に「鉄人」という屋号を掲げて作品作りを始め、77年にドイツで鍛金を学び、久留米市立草野歴史資料館（国登録有形文化財）の門扉や、アクロス福岡横の「出会いの鐘」など各地に印象的な作品を残した。
 2019年には、活動50年を記念する個展「鉄人の世界～50年作品展」をアクロス福岡にて開催している。

 - ・ガーデニングワールドカップフラワーショー ホームガーデン部門金賞受賞(2013年)

- 株式会社九鏡（福岡県粕屋郡志免町南里7丁目5番30号）
 鏡、ガラスの加工業を営む1920年創立の県内事業者。
 ベルサイユ宮殿の「鏡の間」のミラーで世界的にも有名な「サンゴバン社（本社：パリ）」が持つ各国に存在する製造拠点の中で、最高技術の拠点であるドイツ工場製の次世代ミラー&ガラスを取り扱っている事業者である。